

主 出 来 事

2019年1～3月

	三重・愛知	全国・海外
1月	<ul style="list-style-type: none"> ●2020年に愛知県国際展示場でロボットの競技大会「ロボカップアジアパシフィック大会」を開催することが決定。〈1/4〉 ●三重県は昨年7月から8月にかけて三重県を中心に開催されたインターハイの経済波及効果が98.9億円だったと発表。〈1/9〉 ●三重県の相可高校(多気町)と明野高校(伊勢市)が安全な畜産物生産の証明である「JGAP家畜・畜産」の認証を全国の高校で初めて取得。〈1/29〉 	<ul style="list-style-type: none"> ●日本からの出国時に1人あたり1,000円を徴収する国際観光旅客税(出国税)が開始。27年ぶりの新税で、税収を旅行環境の整備などに活用。〈1/7〉 ●厚生労働省は、賃金や労働時間の動向を把握する「毎月勤労統計」について、正しい調査手法で実施していなかったと発表。〈1/8〉 ●米国で予算案が成立せずに2018年末から続いていた政府機関の一部閉鎖が解消。政府機関の閉鎖期間としては過去最長。〈1/25〉
2月	<ul style="list-style-type: none"> ●名古屋市に持続可能な開発目標(SDGs)の啓発などを手掛けるSDGs専門の一般社団法人「中部SDGs推進センター」が設立。〈2/13〉 ●三重県と英国競泳チームは、2020年東京パラリンピックに向けた事前キャンプを県営鈴鹿スポーツガーデンで実施する協定を締結。〈2/25〉 ●中部電力は、原子力発電所1.5基分に相当する200kW以上の再生可能エネルギーを2030年頃までに新規開発すると発表。〈2/26〉 	<ul style="list-style-type: none"> ●日本とEUの経済連携協定(EPA)が発効。関税撤廃のほか、電子商取引などの経済ルールが整備され、世界で最大級の自由貿易圏が誕生。〈2/1〉 ●小惑星探査機「はやぶさ2」が小惑星「りゅうぐう」への着陸に成功。小惑星への着陸は2005年の初代「はやぶさ」以来、世界でも2例目。〈2/22〉 ●ベトナムで米朝首脳会談が開催。北朝鮮の非核化について、具体策とその見返りで米朝の隔たりが埋まらず、合意文書の発表は見送り。〈2/27～28〉
3月	<p>フォーカス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●三重県は建設残土の県内搬入を規制する条例の制定に着手すると発表。既に都道府県のほぼ半数では条例を制定済み。〈3/11〉 ●新名神高速道路の新四日市JCT～亀山西JCT間が開通。東名阪自動車道の四日市JCT～亀山JCT間の渋滞がほぼ解消する見込み。〈3/17〉 ●名古屋鉄道は、名古屋駅に2本ある線路を2027年のリニア中央新幹線開業に合わせて4本に増やすと発表。駅の面積も2倍にする予定。〈3/25〉 	<ul style="list-style-type: none"> ●政府は3月の月例経済報告を発表し、中国経済の減速などを理由に、国内景気の総括判断を3年ぶりに引き下げ。〈3/20〉 ●統一地方選挙が三重など11道府県知事選の告示で幕開け。道府県議、市区町村長、市区町村議を合わせ、975選挙が行われる見込み。〈3/21〉 ●英国はEU離脱期限を迎えたものの、EU側との離脱協議がまとまらず、「合意なき離脱」を回避するため離脱を延期。〈3/29〉

2019年4～6月の予定

	三重・愛知	全国・海外
4月 ～ 6月	<ul style="list-style-type: none"> ●三重県はレスリング女子五輪3連覇の吉田沙保里氏の功績をたたえるため、「三重県民栄誉特別功労賞」を新たに創設し、授与する予定。〈4/13〉 ●全長225.38m、乗客定員500人の豪華外国クルーズ客船「EUROPA2」が鳥羽港に初寄港し、7時から18時まで停泊する予定。〈5/10〉 ●日本ミシュランタイヤは「ミシュランガイド愛知・岐阜・三重2019特別版」を発売する予定。ミシュランガイドで東海地方を取り上げるのは初。〈5/17〉 	<ul style="list-style-type: none"> ●天皇陛下が4月30日に退位され、皇太子さまが5月1日に即位する予定。約200年ぶりに天皇の退位が実現することに。〈4/30、5/1〉 ●5年に一度の欧州議会選挙がEUの各加盟国で行われる予定。選挙の結果を踏まえ、今秋にも欧州委員長を選出。〈5/23～26〉 ●日本が初めて議長国を務める「G20サミット首脳会議」が大阪で開催される予定。日本が主催するサミットとしては史上最大規模。〈6/28～29〉

フォーカス

新名神高速道路の新四日市JCT～亀山西JCT間が開通

3月17日、新名神高速道路の新四日市JCT～亀山西JCT間が開通しました。新名神高速道路と並行して走る東名阪自動車道の四日市JCT～亀山JCT間は、全国でも上位の渋滞発生区間となっていました。ダブルネットワークの実現により渋滞がほぼ解消するとみられます。

また、新名神高速道路の開通と同日、東海環状自動車道の大安IC～東員IC間も開通しました。県内で道路インフラの整備が進むなか、鈴鹿市や菟野町で大規模な工業団地の造成が計画されるなど、企業立地の促進が期待できます。